



# 第 112 回院内コンサート

日時 : 2025 年 2 月 22 日 (土) 14 時 00 分~  
場所 : 亀田病院 新館待合ホール



♪ ♪♪ 演奏者プロフィール

たかはし てるみ

箏 : 高橋 てるみさん



NHK邦楽技能者育成会48期修了。創明音楽会会長 小野正志氏に師事。賢順記念全国箏曲コンクール 入賞2回。長谷検校記念くまもと全国邦楽コンクール入賞2回。NHK 邦楽オーディション合格、NHK-FM「邦楽のひととき」出演。「箏の音で人の心を豊かに穏やかにしたい」を信念に自主企画コンサートを開催。洋楽器とのコラボにも積極的に取り組む。2020年、2024年、神奈川県民ホール小ホールにてリサイタルコンサートを開催。

鎌倉、川越、都内にて箏・三絃教室を開講。星野学園小学校特別活動(箏曲授業)講師。KFP アーツ(川越アーティストバンク)登録。鎌倉芸能連盟、横浜市民広間演奏会、一般社団法人横浜音楽文化協会各会員。創明音楽会大師範。2024年6月創明音楽会副会長に就任

# ♪プログラム♪



宮城道雄特集をお届けいたします。

## 1. 水の変態

明治42年、宮城道雄数え年16歳の年の作品。歌詞は当時の小学校読本に載せられていたもので、弟が読んでいるのを聞いて興味を覚え、これを作曲してみようと思い立ったということです。霧、雲、雨、雪、霰、露、霜の水の7つの様態をそれぞれ一首ずつ和歌に歌っています。本日は「雨」と、「霰」をお届けします。

## 2. 春の夜

作詞 土井晩翠

大正2年、水の変態から実に4年の間が空いた宮城道雄の第2作目。土井晩翠の歌を藤田斗南という人が宮城道雄に読んであげて、それを点字に写しておいたことがのちの随筆に記されています。水の変態に比べて、より力が抜けふんわりとした雰囲気、そして古典の心を把握しているように思われます。

## 3. 木の衣がえ

作詞 野口雨情

昭和9年の作曲。この年は、「箏曲のバイエル」ともいうべき「宮城道雄小曲集」のための曲が9曲、「宮城道雄三絃小曲集」のための曲も5曲作曲されました。小曲集を終えた後に古典の歌の習得への足掛かりとしての曲も作られています。

「木の衣がえ」は、野口雨情の童謡集としても未刊で、宮城道雄小曲集にも未刊。今となっては貴重な一曲です。

## 4. 五十鈴川

昭和23年作曲。伊勢神宮の神々しさと御手洗場での浅瀬を流れる清流が底の小石のためにさざ波となって音を立てて流れていくさまが印象的に採り入れられています。

昭和23年4月18日伊勢神宮に於いて奉納初演されました。



お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。

なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回、第113回院内コンサートは2025年3月22日（土）14時～